

派遣留学生帰国報告書

* 帰国(復学)後の情報を入力してください

記入日	2018/9/13
所属学部・ 研究科・学府	工学部
所属学科・専攻	電気電子工学科

1. 留学先について

留学先大学名	Tampere University of Technology												
留学先所属学部	Electronics and Computing Engineering												
留学期間	出発日	2017/8/23	入学日	2017/8/22	修了日	2018/5/14	帰国日	2018/8/6					
住居	大学(紹介)の寮・アパート	<input checked="" type="checkbox"/>	民間アパート	<input type="checkbox"/>	その他()								
	通学時間	5分			On campus								
	通学方法	自転車											
	居室スペース	<input checked="" type="checkbox"/>	個室	<input checked="" type="checkbox"/>	(2)	人部屋	その他()						
	共有スペース	<input checked="" type="checkbox"/>	完全個室	<input type="checkbox"/>	キッチン	<input checked="" type="checkbox"/>	トイレ	<input checked="" type="checkbox"/>	バス	<input checked="" type="checkbox"/>	リビング	<input checked="" type="checkbox"/>	その他
食事	自炊	85 %	学食	10 %	外食	5 %	その他	() %					
保険	海外旅行保険(名称)	海外旅行保険たびほ											
	派遣先大学指定の保険(名称)	とくになし					強制加入						
	その他												
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)												
	羽田 ⇄		Moscow(飛行機)			⇄ ヘルシンキ(飛行機)							

2. 留学にかかった費用について

総費用	1,000,000 円						
出どころ							
自費	<input checked="" type="checkbox"/>	貯金	600,000 円	アルバイト	200,000 円	その他	円
援助	<input checked="" type="checkbox"/>	両親	200,000 円	家族・親戚	円	その他	円
奨学金		JASSO	円	その他名称	()	円	円
その他		千葉大学助成金	円	その他	()	円	円

2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input checked="" type="checkbox"/>	現金	500,000 円	その他()	円
留学中		海外送金	<input checked="" type="checkbox"/>	キャッシング	その他()

2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	特になし
住居にかかった費用	現地銀行から引き落とし
その他	

2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)	ユーロ		73,000	円
海外旅行保険	ユーロ		20,000	円
OSSMA	ユーロ		2,000	円
査証・在留許可証	ユーロ		10,000	円
住居	ユーロ	2,320	301,600	円
食費	ユーロ	1,000	130,000	円
通学に要する交通費	ユーロ		0	円
教科書、教材費	ユーロ		0	円
その他大学に支払った経費	ユーロ	30	4,400	円
光熱費	ユーロ	0	0	円
その他 (現地生活必需品購入費)			100,000	円
その他 (旅行代)			358,000	円
その他 ()				円
その他 ()				円

3. 学業面

履修科目名	種類 ^{ex.正規、職}	単位数	単位互換認定申請の有無		
			有	無	無
1 intercultural communication skills	正規		有	<input checked="" type="checkbox"/>	無
2 finnish society and culture	正規		有	<input checked="" type="checkbox"/>	無
3 suomi statti	正規		有	<input checked="" type="checkbox"/>	無
4 business english	正規		有	<input checked="" type="checkbox"/>	無
5 tandem	正規		有	<input checked="" type="checkbox"/>	無
6 user interface design	正規		有	<input checked="" type="checkbox"/>	無
7 introduction to satellite positioning	正規		有	<input checked="" type="checkbox"/>	無
8 basic course on wireless communication	正規		有	<input checked="" type="checkbox"/>	無
9 academic english writing	聴講		有	<input checked="" type="checkbox"/>	無
10 user experience design and evaluation	聴講		有	<input checked="" type="checkbox"/>	無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

ポータルで履修登録、ムードルで講義の受講登録をする。だいたい千葉大と一緒に。

3-2. 授業内容、方法に関して

授業は主に黒板を使うことはない。教員が準備したパワーポイントをスクリーンで映して講義を進めていくことが多い。
 インターナショナルの生徒が多いため、英語で開講されている講義が多い。全体の半分以上の講義は英語での受講が可能。
 グループワークの講義も多い。
 2019年度以降、タンペレ市内にある3つの大学 (university of Tampere, Tampere university of technology, TAMK(タムク:ビジネス関係の大学)) が一つにまとまるため、自分の専門以外の講義も受講可能になる

3-3. 語学力について

ほぼすべての教員、生徒が英語を話せる。また、交換留学生も英語が堪能なので、英語力を上げたい人にとって十分な環境であると感じた。

3-4. 図書館など学内施設について

図書館の規模は千葉大ほど大きくはないが、市内の図書館は千葉大以上に大きな規模。

学内に大きなキッチンがあるのでそこで自炊、またはイベントを開催することができる。自学習用のスペースがいたるところにあるのでいつでもどこでも自分で学習ができる。24時間使える棟がある。

体育館も使える。ジム、ボルダリングなども付属している。

3-5. その他

サークル活動も充実している。
 学内外で多くのイベントが開催される。

4. 生活面

4-1. 住居について

TOASという市営の住居斡旋会社がある。その会社に紹介されたアパートに住むことになるので、住居探しに関しては問題はないと思う。アパートもきれいでたいいサウナやジムがつくので日本に住んでいたころよりも住居の質が上がった。

4-2. 食生活について

外食はお金がかかるので(最低8€)だったので、近くのスーパーで食材を買って自炊していた。自炊だと日本と大して変わらない料金になる。
学食が日本より安い(1.5€もしくは2.5€)だったので、それもよく利用していた。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

フィンランド国内はネット環境が整っているので、とくに問題はない。値段も日本より安かった。

4-4. 服装について

冬は外と中で温度差が大きいので、重ね着をした方がいい。

4-5. 健康管理について

特に気を付けていなかったが、身体を壊すことはなかった。ただ、冬は夏と比べて睡眠時間が長くなった。

4-6. 保険、OSSMAの利用について

盗難にあったので、高額な商品の保険証はとっておくことをお勧めする。また、保険によって提出書類が異なるのでなにが必要かを事前に確かめておく必要があると感じた。
OSSMAは千葉大の交換留学する際に強制加入であったが、とくに利用する機会もなくおわってしまった。一回ぐらい使っておけばよかった。

4-7. 課外活動について

学外のイベントでビジコンやハッカソンなどに参加した。フィンランド人、また留学生とともにグループワークをすることで、ビジネス英語の難しさ、議論の進め方の違いなどに気づけた。
私生活では、フィンランド・日本人の友好会に参加していたので充実していた。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

フィンランドではfacebookがよく利用されているので、それを用いて学外のコミュニティを見つけることができる。
様々なコミュニティがイベントを開催し、詳細をfacebookに載せるのでそれに参加して交流していた。
また、kawaii japaniと呼ばれる日本人・フィンランド人のコミュニティがあるのでそれに参加して、異文化交流会などを主催していた。

4-9. 日本から持参してよかったもの

簡単にできるちらし寿司のパック。年に数回、international food partyが開催されるので、そのときに料理下手な僕としてはパパッとつくれて日本風な料理をつくれるので便利だった。
服や電化製品についてはセカンドハンドショップなどで安めに買うことができるので、とくに持参しすぎる必要はないと感じた。むしろ、持ってきたけど使わないものが多かった。

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

充電式電池と充電器
 タオル
 服
 持ってきすぎたため

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

マナーはもちろん違うが、一か月もすればなれる。また、マナーが異なってもフィンランド人はおおらかなのでそんなに気に留めない気がした。
 悪口を言わなくなった、聞かなくなった。

旅行

スコットランド: 2017年10月 7日間 約5万円
 スウェーデン: 2017年11月 1日 1万円
 ポーランド: 2018年3月 3日間 約2万円

その他 * 気分転換やストレス発散法など。

いたるところに湖があるのでよく散歩をしに行っていた。
 自転車で街を周ると気持ちいい。
 サウナ、ジムにいったりリラックスしていた。

5. その他

5-1. 留学先大学について

タンペレ工科大学(TUT)は工学に関する学科はほとんどそろっている。建築学科はフィンランド国内でも優秀らしく、TUT内でもちょっと隔離された場所にある。数学や物理などの基礎的な授業から、院生向けの専門的な授業まで数多くの授業が英語で開講されている。いくつかの専門授業をとっていたが、実生活と結びつけて講義が進められているので自分にとっては受けていて面白かったしやる気も出た。

5-2. 留学希望者へのアドバイス

専門以外の講義でもUI, UXデザインやintercultural communication competence, finnish languageなど興味深い講義も英語で開講されているので、もし時間に余裕があればとってみることをおすすめする。

また、自学習のしやすい環境なので自分で頑張れる人にとっても魅力的な大学だと思う。

また、フィンランドは文化としては全く異なるが、人間性は似ていると言われているので日本人にとっては住みやすい国だと感じたので、初海外などの人にもおすすめ。

5-3. 留学を終えて

交換留学生としてはあるまじきことだが、勉強に関してはまったくいい成績を残すことができなかった。しかし、それその分、自分の向き合う時間を十分にとることができたので、今の自分がやりたいこと、今後の自分がどうなりたいかをじっくりかんがえることができた。また、異なる文化圏で生活し今までとは違う経験をすることで、価値観を広げることができた。

そのため、自分の意見や考え方を言うことに対して恐れなくなった。しかし、影響を受けやすい性格をしているので日本に帰った後に元通りになってしまう不安もある。

今後の目標としては、就活と卒研を両立しつつ、日本についての教養を深めていきたい。これはフィンランドにいて、逆に日本についての興味が湧いてきたため。